

令和6年1月25日
北九州市市民文化スポーツ局

市議会議員各位

北九州市立美術館開館50周年記念
「足立美術館所蔵 横山大観展」の開催について



令和6年に北九州市立美術館は開館50周年を迎えます。

この大きな節目を記念して、近代日本画の巨匠・横山大観の展覧会を開催します。

本展では、横山大観コレクションで名高い足立美術館の所蔵作品から、大観の出世作となった初期の代表作《無我》、朦朧体の傑作《曳舟》、円熟期の豪華絢爛な大作《紅葉》など、厳選した50点の展示を行います。

(記)

- 1 会 期 令和6年4月6日(土)～令和6年5月19日(日)
- 2 場 所 北九州市立美術館 本館 企画展示室(北九州市戸畑区西鞆ヶ谷町21-1)
- 3 主 催 横山大観展実行委員会
(北九州市立美術館、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、テレビ西日本、
TVQ九州放送、LOVE FM国際放送)
- 4 横山大観について

横山大観(1863年生-1958年没)は、明治、大正、昭和の激動の時代を生きた我が国を代表する日本画家。西洋絵画の技法等を研究し「朦朧体」(もうろうたい)と呼ばれた革新的表現に挑んだ。師の岡倉天心没後、天心の遺志を引き継いで美術院を再興。以後院展を拠点に活躍し、1937年には第1回文化勲章を受章。日本の美術文化の発展に大きく貢献した。

5 チケット販売所

- 〈全国〉ローソン、セブンイレブン、ファミリーマート、ミニストップ
〈北九州市内〉北九州市立美術館、井筒屋、モノレール主要駅等
〈福岡市内〉アクロス福岡チケットセンター等
〈下関市内〉シーモール下関、
〈オンライン〉オンラインチケット(美術館ホームページより)



横山大観《紅葉》1931(昭和6)年 足立美術館所蔵

お問合せ先 ◇北九州市立美術館普及課

担当：菅、阪上 TEL. 093-882-7777 FAX. 093-861-0959



横山大観(紅葉)(左隻-部分) 1931(昭和6)年 足立美術館蔵

足立美術館所蔵

横山大観展

2024年 4/6^土 → 5/19^日

【開館時間】9:30-17:30(入場は17:00まで)

【休館日】月曜日(ただし月曜日が祝日又は振替休日の場合は閉館し、翌火曜日が休館)

【観覧料】一般 1,700(1,400)円/高次生 1,300(1,100)円/小中生 900(700)円

※(1)中は前売り券および20名以上の団体料金。なお観覧者手帳を提示の方とその同伴者1名(身体障害者手帳については障害者が1〜4名の場合に限る)は無料。北九州市在住の65歳以上の方は2割減額(有効期限内の証明書の提示が必要)。年高者引当は、オンラインチケット(北九州市立美術館「伊より」)、ローンチケット(ローン)、ミニストップ、チケットぴあ(セブンイレブン)、セブンチケット(セブンイレブン)、ファミリーマート、小倉共商館、北九州モノレール主要駅などで販売。※オンラインチケット、デジタルチケットは観覧会開催中は当日料金での販売となります。

【主催】横山大観展実行委員会(北九州市立美術館、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、テレビ西日本、テレビQ、LOVE FUD) (特別協力) 公益財団法人足立美術館 (企画協力) TNCプロジェクト

【後援】九州旅客鉄道、西日本鉄道、北九州モノレール、京浜東北線、朝日新聞社、NKK北九州放送局

【協賛】



ずっと先まで、明るくしたい。



北九州市立美術館

Kitakyushu Municipal Museum of Art

本館

〒804-0024 北九州市戸畑区西朝ヶ谷町21-1 TEL 093-882-7777 <https://www.kmma.jp>

大観

The Best Selection of Yokoyama Taikan
from Adachi Museum of Art



足立美術館所蔵
横山
大観展

大観

The Best Selection of Yokoyama Taikan
from Adachi Museum of Art



《無我》1897(明治30)年

出世作となった、初期の代表作《無我》



《曳船》1901(明治34)年



《夏之不二》1920(大正9)年

朦朧体の傑作《曳船》

生涯をかけて、描き続けた富士山

2024(令和6)年、北九州市立美術館は開館から50周年を迎えます。これを記念して「足立美術館所蔵 横山大観展」を開催いたします。

横山大観(1868[明治元]ー1958[昭和33])は我が国を代表する日本画家です。大観は、日本の文化財の保護や、日本美術の伝統を踏まえつつ新たな表現を奨励して未来に繋げる道を指し示した岡倉天心の理念に深く賛同し、1898(明治31)年、天心の日本美術院創設に参加。西洋絵画の技法等を研究し「朦朧体」と呼ばれた革新的な表現に挑みました。天心の死後は大観らが中心となってその遺志を引き継ぎ、美術院を再興。以後、院展を拠点に活躍しました。1937(昭和12)年にはその多大なる功績により第1回文化勲章を受章するなど、日本画壇のみならず日本の美術文化の発展に大きく貢献しました。

本展では、近現代日本画のコレクションで名高い足立美術館の所蔵作品から、近代日本画の巨匠・横山大観の名品を精選してご紹介いたします。初期作品から晩年にいたる大観の画業を、足立美術館の名品からご堪能ください。

円熟期の豪華絢爛な大作《紅葉》



《紅葉》1931(昭和6)年



※すべて足立美術館所蔵

足立美術館

島根県安来市にある美術館。1970(昭和45)年、同地出身の実業家・足立全康氏(1899ー1990)のコレクションをもとに開館。近現代の日本画をはじめ北大路魯山人の陶芸、木彫、童画など約2000点を所蔵。なかでも横山大観作品は約120点と国内屈指の規模を誇る。また、同館の創設以来の基本方針「日本庭園と日本画の調和」のもと、全康氏によって作られた広大な日本庭園は、四季折々の自然の美しさを楽しめる。アメリカの日本庭園専門誌『ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング』が実施している庭園ランキングで連続日本一に選ばれていることでも知られる。

同時期開催の 展覧会

※別途、観覧料が必要です。

本館

コレクション展Ⅲ 特集 磯崎新「還元」シリーズ 1月4日(木)～5月6日(月)
コレクション展Ⅰ 5月18日(土)～8月25日(日)(予定)

【交通案内】



●西鉄バス

●市内各地より
「七条」で下車、「七条(戸畑方面)」(八幡東消防署高見分署前)から7M番(製鉄飛橋門行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要6分)。

●JR小倉駅より

「小倉駅入口」(JR小倉駅からモノレールに沿って行き、小倉駅前交差点を渡って左、徒歩5分)から西鉄バス7M番(鞆ヶ谷方面行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要30分)。

●JR戸畑駅より

「戸畑駅」から西鉄バス7M番(砂津行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要25分)。

●JRスベースワールド駅・JR枝光駅より

タクシー(所要10分)。

●高速バス

「西鉄天神高速バスターミナル」から高速バス・いとうづ号(小倉方面行き)に乗車、「七条」で下車(所要1時間20分)。「七条(戸畑方面)」(八幡東消防署高見分署前)から7M番(製鉄飛橋門行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車。

●車

北九州市都市高速道路:山路ランプから車で8分。

イベント

■講演会

2024年4月6日(土) 13:30～15:00(開場13:00～)
[演題]「足立美術館と横山大観コレクション」
[講師] 安部剛男氏(足立美術館学芸部長)
[会場] 美術館本館アネックス3階 レクチャールーム(定員80名)
※聴講無料。事前申込み制。詳細は、美術館HPをご覧ください。

■スライドトーク 学芸員が展覧会の見どころを解説します。

①4月13日(土)、②4月27日(土)、③5月2日(木)
[時間] 11:00～(30分程度)
[会場] 本館1階 エデュケーションルームA(各回定員20名)
※参加無料。各回とも当日10時より美術館1階インフォメーションにて整理券を配布。

〈臨時駐車場・無料シャトルバスのご案内〉

●マイカーでお越しの方へ

美術館の駐車場には限りがあり、会期中の土・日・祝日の駐車場は混雑が予想されます。臨時駐車場として、ジ アウトレット北九州駐車場もご利用できます。(ジ アウトレット北九州駐車利用時間 = 土・日・祝日 7:00～24:00)
※入口は、順次解放されます。

●美術館本館⇄ジ アウトレット北九州バス乗り場 無料臨時バスを運行(土・日・祝日のみ)

詳細は、美術館HPをご覧ください。

北九州市立美術館

Kitakyushu Municipal Museum of Art

〒804-0024 北九州市戸畑区西鞆ヶ谷町21-1
TEL 093-882-7777
https://www.kmma.jp



臨時駐車場
詳しくはこちら

本館

